

軍極秘

Ⓜ

至 皇
昭 昭
和 和
十 十
九 九
年 年
八 八
月 月
三 三
十 十
一 一
日 日

軍 戈

時 日

日

言 士 四

特設運送艦九東丸

所	管
吳	鎮
守	府
役	務
附	屬
隊	隊
合	艦

目次

(一) 作戦及一般部
 一 経過
 二 人員現狀
 三 實施經過概要
 四 受セル主要ナル令違報告通報等

(二) 機関部

(三) 醫務衛生部

(四) 會計経理部

終

0480

↳
作戦及一般部

T280

職	特務	艦長	名官	階氏	名	記事
乘組	航海長 (通信長職務執行)	内務長 (補佐官)	同	八幡恭次		
	内務長 (補佐官)	海軍大尉 (予)	桑原哲雄			
	海軍大尉 (予)	熊崎景				
	海軍大佐 (予)	木岡蟻志松				

二人員、現状

准士官以上 (八月一日)

一経過
 兵装々備、上八月六日呉本港同月七日門司着、
 団加入同日八日門司奉マヨ、經由北南、向ヶ出港同月二十
 一日マヨ着、托送品及人員陸揚、上同月二十五日北南
 向ヶ出港

同	同	同	同	兼	機	同	同	同	同	同	同	同	同	同	兼
(掌機長兼工業長)	(分隊士)	(機関長附岳長)	(電機長)	(機械長)	関長兼分隊長	(掌砲長掌水雷長掌機雷長職務執行兼分隊士)	(二五機銃指揮官)	(掌航海長職務執行)	(掌通信長職務執行兼分隊長)	(航海士兼通信士)	(掌砲長職務執行兼甲校長)				組
海軍機関兵曹長(四)	同	海軍中尉兼機	同	同	海軍大尉(予機)	同	海軍兵曹長(四)	同	海軍少尉(召)	同	海軍中尉(特)				
村田又一	佐々孝致	新間均	和田稔	田中明	村上功	小林栄四郎	原田充	沖越兼次良	林彌一	浅田健三	瀬下友衛				
						八二任海軍兵曹長									

八月二日	退艦赴任	主中尉 兵曹長 機曹長	大守 坦 小林 栄四郎 岸本 敏雄 内山 房男 小林 栄四郎 岸本 敏雄	
八月一日	准士官學生任命	同 兵曹長 機曹長	大守 坦 小林 栄四郎 岸本 敏雄 松浦 捨治	
異動月日	着任	記	事	
同	同	同	海軍主計中尉	大守 坦
主	計	長	海軍主計大尉	内山 房男
同	同	同	海軍機務曹長	岸本 敏雄
軍	返	長	海軍機務曹長	松浦 捨治
			海軍機務曹長	岸本 敏雄
			海軍機務曹長	岸本 敏雄
			海軍機務曹長	岸本 敏雄
			海軍機務曹長	岸本 敏雄
			海軍機務曹長	岸本 敏雄
			海軍機務曹長	岸本 敏雄

(二)右異動	合計	理髮手	洗濯手	割烹手	主計科	看護科	工作科	機関科	兵科	兵種官等	以下士官兵雇傭人現在員(八月一日)	八月一日
	七七				六	一	二	二六	四二	下士官	現任員	退艦赴任
	一一一				二	一		二七	九一	兵	(八月一日)	機曹長
										雇員		私浦捨治
										傭人		
	三	一	一	一						記		
	二〇	一	一	一	八	二	二	五三	一三三	事		

八月三日	八月二日			八月一日	異動月日
同	乗艦	乗艦	退艦	任海軍兵曹 一名	記
機兵長		(採用)	(解備)	任海軍機関兵曹長	
一名	上曹	俤人	俤人		
一機					
一名	一名	二名	二名	二名	

終

9480

三實施經過概要

金	四	水	二	火	一	曜	月日
吳						所	
七五九、三 六	南半 西曇	七六〇、七 七	南半 西曇	七五八、七 五	半 晴	七六〇、 六	半 晴
七六〇、四	南半 西曇	七六〇、四	南半 西曇	七五九、五 七	南半 曇	七五八、九 七	南半 曇
聯						任務一般	
聯						任務特殊	
九〇四 兵鎮管区警警戒警報命令 九〇五 灯入戦斗管制 二〇〇 砲員機銃員配置二就 二〇〇 砲員機銃員器具收束						經過摘要	
整備作業 配置教育						記事 廿電令作 第三六二号依り 八日附機動艦 隊員除コレ聯合 艦隊附屬トナル	

2280

火 八 月 七 日 六 土 五

航 崎 部 中 海 航

七五九、一 七	半晴 北西、四	七五九、一 七	晴 北東三 七五八、四	七六〇、九 四	半晴 南西、四
七六〇、一 七	半曇 北西、五	七六〇、一 七	半曇 北東三 七五八、四	七六〇、五 六	半晴 南西、四

合

合

<p>八〇。機材備中三配備口撤又 三五五。其機管に機材管撤解除</p>	<p>八三。部崎高ヶ其港。九一六。機材 撤除、為其港沖口假泊 八三〇。主機機材撤除復旧 二五〇。部崎高ヶ其港沖弁</p>	<p>八三八。部崎着</p>	<p>五三。伊豆海高ヶ部崎弁 七四。大連海高ヶ部崎能代弁 吉備洋能登永洋伊良湖駒風鶴 線三洋伊良湖下合向平ヶ柳蔵 橋藤波大摩、護行、愛ヶ伊豆海三</p>
---	--	----------------	--

部崎高ヶ其港
 整備作業
 配置教育
 整備作業
 配置教育
 伊豆海高ヶ部
 整備作業
 配置教育

		九 水 一 木			
海 中			伊 萬 里 灣		
		半晴 南 西 五 七 三 三		半晴 南 西 四 七 六 三 九	
		晴 南 西 四 七 六 三 五		半晴 南 西 五 七 六 四 〇	

向ノ艦内哨戒第三配備対潜警戒
 〇八ノ才一警戒航行隊形ヲ判レ
 〇九ノ才之字運動ヲ法始ム
 〇三ノ才耶山丸敵潜水艦ヲ誤ム(誤認アリヨ
 ヲ認ム)
 二四ノ才之字運動ヲ法止ム才一警戒航行
 隊刑ヲ判ル
 三五ノ才吉備津丸機関故障列外ニ定ツ
 一五ノ才伊萬里灣着

高以高ケ
 伊萬里灣着
 警備作業
 配置教育

6280

月	日	三	土	三	金	二
---	---	---	---	---	---	---

海

航

南 西 五 九 六	東 一 七 七 四	南 東 七 六 三 二	半 晴	南 東 六 七 五 〇	半 曇	南 々 西 五 七 六 四 二	半 晴
南 東 一 二 三	東 一 九 七 五 七 三	南 東 六 七 六 六 六	半 晴				

艦

艦

<p>一〇。是ノ一警戒航行隊形ヲ割ル</p> <p>一一。之字運動G法ヲ始ム</p> <p>一二。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p> <p>一三。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p>	<p>一四。所藏先前方列艦南ノ敵潜水艦ヲ察知取置就ク</p> <p>一五。敵潜水艦ノ虚探知ト認メ取置就ク</p> <p>一六。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p> <p>一七。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p>	<p>一八。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p> <p>一九。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p> <p>二〇。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p> <p>二一。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p>	<p>二二。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p> <p>二三。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p> <p>二四。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p> <p>二五。之字運動G法ヲ止ムG法ヲ始ム</p>
--	--	---	---

整備作業
配置教育

	木七	水六			火五
公馬			中		
	七五九一	七九一五			七五九二
	七六〇七	七六〇八			七五九〇

隊

隊

〇四〇故障復旧二三五船団合同列
入り定位置置三〇位

〇六五庫耶山九左一〇度方向滑
鏡発見配置ニ就ク

〇六九早急右四十五度一斉回動
〇六五〇敵滑空浮流物ヲ誤認船内哨
戒ヲ三配備対滑空警戒トナス

〇七五五一斉回頭之空運動ニ法始ム
五五船列ヲ一分回先航ニ四三今回ノ
順ニ入港

一八〇五敵哨戒ヲ三配備対滑空警戒ニ撤
ス一九八馬公着

一四五〇船団ヨリ分離セル三洋丸 瑞鳳丸
中六総丸入港

一七三七船団(河波岸並摩耶山查
推能代 北海 玉津 能登 速吸 彦
洋 中六日島 旭東 二洋 瑞鳳 水津)

編成替(マ十三護身隊平ク御旗
倉橋 馬公 海十一号夕風 瑞波 大鷹 護)

馬公着

航						

一。受ケテマシテ向ケ馬公峯ト
 九〇。機外消成サ三航備付機終成トス
 九四。中ノ機成航行隊形ニ制ル
 〇三。之字運動ニ法始ム
 〇五。洋丸機箇故障ノ為船固ヨリ今離受
 爲馬公引返ス
 二〇。阿波丸機箇故障列外ニ出ル
 二五。之字運動ニ法中止
 三五。阿波丸故障復旧海防艦擇捉日振
 佐渡松輪夕風才三掃蕩隊トニテモ二
 船固ニ命同護ケ任務ニ就ク
 三四。阿波丸列ニ入り定位置ニ占位
 三〇。之字運動ニ法始ム
 四〇。八ノ機南近距離ニ敵機発見
 四二。緊急若早五度ニ各回頭回避
 四五。平々ノ度方向ニ敵機水機水測辰
 ノ探知又松佐渡日振船南射撃機等ノ
 爲及機分離
 四五。敵機八機探知ト認メ佐渡日振
 船南平々ノ度機固ニ命同護ケ位置ニ占

マシラ同
馬公峯

					八金
--	--	--	--	--	----

					墨 南東一〇 七六〇、九 六
					墨 南西七 七六〇、七 六

附

附

三〇三之字運動日法ヲ始ム	二〇五之字運動日法ヲ始ム	〇五三右一五〇度方向ニ敵潜水艇ヲミギモノ 航走ス自波ヲ認ム	〇五三字上潜水艇右後方約五〇〇米ヲ船 国内ニ侵入スルヲ認メ面舵船回外ニ回避	〇五三敵潜水艇沈没見失	〇五四永洋丸右舷側ヨリ爆発音ヲ聴知 水柱、上ルヲ認ム直ニ配置三銃ヲ	〇五四平戸返弦。〇五五。緊急方四ノ字 一斉回頭	〇六五倉橋返弦。〇六七方八〇度方向	〇五〇米ニ落ル銃ヲミモノ弁見面舵回	〇六八船内哨戒ヲ三配備対敵攻撃トナス	〇七五之字運動日法再興	〇八三永洋丸被害ノ為船回ヨリ分難危 護ヲ受返弦若雄高ノ字運動中又	〇八五之字運動日法再興	〇三三六船尾四〇〇米三〇度方向爆発音
--------------	--------------	----------------------------------	--	-------------	--------------------------------------	----------------------------	-------------------	-------------------	--------------------	-------------	-------------------------------------	-------------	--------------------

整備作業
配置教育

0384

一九
土

中

南西一〇
七六〇
南西七
七五九
〇七

属

属

〇〇二〇之字運動Q法始	〇四一〇之字運動Q法止	〇一〇〇之字運動Q法再興	〇〇五敵誘Q推進器音聴知面舵移舵	〇五〇爆雷發射一個直止	〇三八爆雷音齊聴知(方向不明)	〇四〇推進器音飛知	〇四四推進器音消滅	〇五三〇之字運動Q法始	〇三三三艇内消滅十三配備対潜警戒下	不砲員機銃音爆雷音等且収メ	爆雷音ロキモノ音聴知(方向不明)	〇七五耶序丸一九度方向水平線三認	八三艇首方向三魚雷航走音聴知配	置三就ク(回避斜路適宜)	八四〇艇内消滅三配備対潜警戒下	戒トナス砲員機銃音爆雷音	要且収メ	八四五之字運動Q法始	一〇〇〇倉橋日昌丸三〇度方向三認
-------------	-------------	--------------	------------------	-------------	-----------------	-----------	-----------	-------------	-------------------	---------------	------------------	------------------	-----------------	--------------	-----------------	--------------	------	------------	------------------

			日	二〇		
海	航	スマト下ニサ	航海中	ハシナ		
			半晴	向々東三		
			七五九	六		

一三〇。倉務日昌丸ト合同倉橋留尊ニテ
 サルナド同ク
 一三〇。昭南ヲ右ノ平度水平線ニ認ム
 一三〇。瑞鳳丸ヲミテモノミ五度ノ向ニ認ム
 一三八。之字運動日誌止ム
 一九九。サルナド着。一九三五船内哨戒才
 三。配備対洛警。成ヲ撤ス
 一〇〇。船内哨戒見張トナス
 一三〇。船内哨戒見張ヲ撤ス
 一八。九。有野山丸日昌丸旭東丸船団
 平ノ中倉倉橋夕風北海海上号潮風
 護日機。拉輪。佐渡。護。行。受。サ。ニ。ト
 ト。三。向。ケ。サル。ニ。ル。ナ。ド。卒
 一三。船。内。哨。戒。三。配。備。対。洛。警。成。ト。ナ。ス
 一。五。四。サ。下。マ。ス。着。假。泊
 一。五。五。飛。回。所。波。瑞。鳳。查。権。北。海。能。登。多。ク
 一。五。六。サ。下。マ。ス。同。サ。ニ。ト。受。サ。ニ。ト
 一。五。七。才。三。警。戒。航。行。隊。形。ヲ。制。ス
 一。五。八。才。三。警。戒。航。行。隊。形。ヲ。制。ル
 一。五。九。才。三。警。戒。航。行。隊。形。ヲ。制。ル

假泊

假泊

警備作業
配置教育

				二 月		
中	海	航	スルクタンサ		中	
				七 九 八	半 島	
				七 五 八	半 島	

八四五ノ艦隊形ヲ制ル
 八五ノ字運動ノ法止ムニ九四四サドルズ
 着
 九五五艦隊形ヲ三配備対潜警戒ヲ
 撤ス
 二〇〇 艦隊形見張トナス
 〇六〇 艦隊形見張ヲ撤ス
 〇三三三三三向サドルズルズ奔
 〇六四五艦隊形ヲ三配備対潜警戒トナス
 〇七五五艦隊形ヲ制ル
 〇七三〇之字運動日始ム
 〇七五〇哨戒機左一七〇度(三〇〇度方向)ニ
 米ニ爆弾投下七個〇七五ニ着波及松
 〇七五三日張及松〇七五ニ着波爆雷投射
 (三個)
 〇八三佐波及松〇八五〇八〇度方向ニ着波
 推進器音ヲミキモノ縣知倉務及松
 八四八〇度方向ニ爆雷音聴知
 〇〇〇着波倉務日張合同
 二七四 艦隊形ヲ三配備対潜警戒ヲ

假
泊

二六		二五	二四	二三	二二
土		金	木	水	火
航		二	二	二	二
六六 六三 六一		半晴	七六 七一 六八	七六 七一 六八	七六 七一 六八
六六 六三 六一			七六 七一 六八	七六 七一 六八	七六 七一 六八

○六〇 船内晴或三配備対泳殿ニ成トナス	○五〇 船内晴或三配備対泳殿ニ成トナス	○四〇 船内晴或見張トナス	○三〇 船内晴或見張トナス	○二〇 船内晴或見張トナス	○一〇 船内晴或見張トナス
---------------------	---------------------	---------------	---------------	---------------	---------------

船南ニ向ケ
マシラケ

入マシラケ

	二 月		二 七 日			
航	假泊 7月30日		中	海		
	南 曇 七 六 四 〇		南 曇 七 六 三 〇			
	半 晴 七 六 三 五		南 曇 七 六 一 五			

〇六上ノ下ノ假泊行成射利 〇五上ノ下ノ假泊行成射利 〇四上ノ下ノ假泊行成射利 〇三上ノ下ノ假泊行成射利 〇二上ノ下ノ假泊行成射利	〇一上ノ下ノ假泊行成射利 〇〇上ノ下ノ假泊行成射利	八上旭那丸改陣列外ニ於ツ波 覆身トテ今測 九上九度分北ニ七度三分東ニ於 假泊 二上旭那丸 差波合同	〇五上假泊銷地等形同ニ向フ由念念務 前路消成ニ局先航 〇四上由念念務消成射利(合奉) 〇三上由念念務形同ニ合同 〇二上由念念務形同ニ合同
--	------------------------------	---	--

水 三二		水 三〇			火 二九
------	--	------	--	--	------

中 海

七六二八 南西半晴		七六三二 西半曇			七六四五 南東半曇
七六〇七 南東半晴		七六三一 北半晴			七六三七 北半晴

<p>三。六才三警戒航行隊形ヲ利ル</p> <p>四。之字運動の法始ム</p> <p>一。五之字運動止ム</p> <p>二。之字運動才三法始ム</p> <p>一。五六之字運動止ム</p> <p>一。六。之字運動の法始ム</p> <p>一。七。五旭那九才号馬海艇船固ヨリ分衛</p> <p>リ一ニ向フ</p> <p>一。九。五之字運動の法止ム其法始ム</p> <p>三。三。之字運動の法止ム其法始ム</p> <p>〇。八。五之字運動の法止ム其法始ム</p> <p>二。五。之字運動の法止ム</p> <p>一。三。之字運動の法始ム</p> <p>三。三。倉務列ヨリ出ツ</p> <p>三。三。之字運動の法止ム</p> <p>〇。二。五。倉務合同。四。三。之字運動の法始ム</p> <p>〇。九。五。之字運動の法止ム其法始ム</p>					
---	--	--	--	--	--

四發受セル主要ナル令達報告通報等

信号部

月日	所在	停艦所	着信艦所	信文
八一	吳	所 A	本	<p>奔潮部隊 X 三ヨヨ X</p> <p>速吸船固門司令 八月六日 予定</p>
三	吳	所 A	本	<p>奔潮部隊 X 三ヨヨ X</p> <p>北南通報潮司令部 運輸部</p> <p>一 旭東丸船固及七三船固 八日 早朝 伊</p> <p>萬里満出港ノ事ニ決定</p> <p>二 船固部隊 八六日 午前中 門司ニ集合</p> <p>三 門司ヨリ通報アリタリ</p>
三	吳	所 A	本	<p>奔潮部隊司令 部 X 三ヨヨ X</p> <p>速吸船固及七三船固 八六日 午前中ニ</p>

五	四	三	三
呉	呉	呉	呉
所 A	所 A	本	所 A
本 八 速 吸	各 艦 船	潮部 隊司令 部 兵 鎮 守 部 司令 部 港務 部 二 部 総務 部 運輸 部 通報 部 速 吸	本 速 吸
<p>七十一船団七日午後船団会議八日午後 祭呉鎮 X セムサ X</p>	<p>警報呉鎮区警警戒警報第一種 呉鎮守府司令長官命令一九〇〇</p>	<p>本艦五日〇九〇〇門司ニ向ケ岩港ノ 予定</p>	<p>門司集合八日朝伊萬里灣弁ニ変更セラ レタリ 弁潮部隊司令部 X サヨ X 速吸船団門司弁八月九日ニ延期セラル (七七一) 船団ト同航</p>

	五	七	七	
	呉	宇部沖	伊萬里灣	入航海中
	本	本	所	阿波
	所 A	速吸	本	各船舶
<p>六運弁予定同船国部隊ハ七日午前中ニ 門司集合、コトニ定メラル 右門司武官森ヨリ</p>	<p>宛港務部潮部隊工廠砲熧部検査官 運輸部鎮守府 Xセムサ X 都合ヨリ本日若港、明日〇九〇〇ニ改ム</p>	<p>船国会議ハ何時行ハル、ヤ 弁呉鎮長官 警報呉鎮管区警戒警報解除 一三三〇</p>	<p>弁武官府 船国会議一三時船国議便送ル</p>	<p>入港順序ヲ指定ス 一六、二九、五二、一九、三二〇、一三、一四</p>

八 伊萬里灣	平 戸	各 艦 船	一十二節一時間待機トナシ錨鎖ヲ伸シ 荒天津備ヲナシケ 二八〇ヨリ大鷹ニ於テ船回會議ヲ行フ 船長以上(要スレバ機関長)參集スベシ
八 伊萬里灣	平 戸	各 艦 船	×サヨ×本日、船回會議ヲ取止ム明朝特 令ナケレバ〇五〇〇出港ス 〇四三〇以後特ニ信号ニ注意セヨ
九 伊萬里灣	平 戸	各 艦 船	出港ヲ一日延期ス 便宜荒天津備ヲ復旧セヨ 一三節二時間待機トナセ
九 伊萬里灣	阿 波	各 艦 船	航路予定表別表第一ノ内、ハ點ノ緯度ヲ 三度四〇分ニ及ビ、航ノ距離ヲ九九 哩及三六哩ニ訂正ス

	九伊豆海	御藏	各艦船	<p>定</p> <p>一 船固明朝。五。令ナクニテ予定順序ニ 出港外ニ第一航行隊形トナセ距離 ノ延ガレテ続行セヨ</p> <p>二 伊良湖ハ速吸末着ニテハ 時八一六番 船(第四分隊、先頭船)ノ位置ニ就カシムル予</p>
	九伊豆海	御藏	各艦船	<p>改</p> <p>早六十一日當船固ニ合同ノ見込</p> <p>九日一四七浮上潜水艦三三度三三分北一三九 度三分東ノ情報アリ警戒ヲ嚴ニセヨ 船 固ハ相崎瀬ヲ通り南下ス</p>
	九伊豆海	御藏	各艦船	
	九伊豆海	御藏	各艦船	
	九伊豆海	御藏	各艦船	<p>宛船固通報護ヲ艦</p>

一	航海中	御藏	各艦船	相崎瀬戸通過迄單總列ヲ行ク距離ヲ誌 高雄迄ノ行動ヲ定相崎瀬戸ヨリ「A」 三三度一元度一分B「二八度二七分」 一三七度五分C「二八度三分一三五度」D「二五 度三三分三〇度」四〇分ヲ至テハクサ岬ヨリ 接航一四日〇六〇。高雄正午位置十日相 崎瀬戸十日二九度一分一三七度三分一三 日二七度四分一三三度五分ハクサ岬ノ 三〇度二六哩
一〇	航海中	御藏	各艦船	吉備津丸ヲ出隊ヨリ除ク大鷹ハ便宜第 二分四、後尾ニ入レ
二	航海中	御藏	各艦船	整合瓊施要領左ノ通り定ム 島ノ見エナル海域ニ於テハ毎日大陽子午

一	航海中	阿波丸	各艦船	高雄碇泊ハ短時間ニ付状況ニヨリテハマラ航ハ補給迄末ザルモト認メラル
二	航海中	阿波丸	船団部隊 通報 護衛艦	高雄ニ於ケル船団錨地基準船位置 高雄灯台三四〇度八〇〇米列線方位 三四〇度第一航行隊形ヲ入泊ス附近ニ碇泊船アラバ便宜附近ニ投錨スルモト ニ基準船揚荷ヲ要スル船及ビ補給ヲ要スル船ハ港口又ハ港内ニ指定入泊セシメラルニテ定
二	航海中	阿波丸	各艦船	船団運動ハ基準船ノ信号降下ヨリ 信号ヲ揚グ 奔動スモトス
				線通過十五分後旗艦ニ做ヒ一三〇〇ノ船位

	一 航海中 二 叢 三 各 四 艦	<p>各船、真水其他消耗品、極度節約 ヲナセ</p> <p>一 昨夜。五。敵飛行機一機高雄沖 ヲ北方ニ去リ台湾南西岸航行中晝 間空襲又ハ敵機、電探ヲ利用スル 夜間爆撃ヲ行シ特ニ警戒、要アリ</p> <p>二 船回部隊ハ敵機末襲時機先ヲ制 シ全砲銃火ヲ以テ之ヲ撃墜セントス</p> <p>三 電探哨戒ニ關シ左ノ通リ定ム明十三日 。六。ヨリ高雄入港時迄大鷹藤波 速吸ノ順序ニ時間交代(故障アラハ順 次繰上ケ)</p> <p>四 夜間八時ニ逆探ノ警戒ヲ嚴ニ敵機</p>
--	----------------------------	---

	<p>一三 航海中 御藏 各 艦</p>	<p>一三 航海中 阿波丸 各 艦</p>	<p>一四 航海中 阿波丸 船員部隊</p>
<p>電波ヲ感受セズ直ニ戰鬥配置ニ就キ爆音 直ニ聞カバ直ニ之ヲ攻撃セヨ但味方諸 別及僚艦ニ危険無キ様注意セヨ</p>	<p>×サヨ× 自下高雄ハ入港禁止ニ付補給ハ必来サ ルモト覚悟ニ糧食清水等節約サレシ 船員ハマシラニ直行スルヤモ知レズ</p>	<p>明朝ハ八〇〇會合ト点ニ六度四〇分一三三度 ニ〇分針路ニ三五度速力一ニ節ノ予定</p>	<p>馬公入港第一航路サボセウ灯台ノ九度 セニ理ヨリ針路三〇五度ヲオントウ標ノ二二 六度一四〇米ヨリ〇度同ジク三〇ニ度一 三〇〇米ヨリ四五度トウピトウ附近ニテ適</p>

	<p>宜指定錨地ニ錨泊セヨ</p>
<p>一五 航海中 阿波丸 各艦</p>	<p>一 第三航路ヨリ入港ノ号定キシ燈台、 ニ七〇度四八哩ヨリ針路百十一度同燈台 首九四度一九哩ヨリ針路八二度アオコ燈 標ノ二六三度一〇哩ヨリ針路四五度 二 潮流強ク止位々置ニ注意セヨ 三 錨地ハ指定サルベキモ分ニザル場合ハ先 頭船ヨリ甲錨、奥ヨリ便宜投錨セヨ</p>
<p>一五 航海中 御藏 各艦船</p>	<p>一 入港順序ヲ指定ス、御藏船団大鷹 護才艦船番号順序 二 才一分団八一五三〇ニ至ラバ列ヲ解キ先航 三 爾餘ハ二四三分団ノ順序ニ續行シテ了 定通りニ入泊セヨ</p>

	一五 航海中 御藏 各艦船	
三入港後一二節三時間待機トナセ	馬公ニ於ケル錨地ヲ特令ナケルハ左ノ通りトス	<p>一第一分國緯度三五分線以北運行指揮官定ル所ヨリ</p> <p>二第二分國カイカン立標ノ二三〇度線上 フホノヤヨリ五〇〇米</p> <p>三第三分國第二分國ノ南東方平行線 五六〇米</p> <p>四第四分國ハ更ニ南東平行線上</p> <p>五護衛隊ハ内港トシ追ッテ令ス</p> <p>六海底電線ヨリ二〇〇米以上離スコト</p> <p>七大鷹ハブライオン灯台二三〇度線以内過 宜トス錨地ヲカイカンガニ之標ノ三五〇度ニ五〇</p>

一六	馬公	阿波	各艦船	<p>ヒ七一船国明一七日〇六〇〇出港ス(第六艦丸ヲ除ク)</p>
一五	馬公	御藏	船国部隊	<p>明日午後出港ノ予定</p>
一六	馬公	阿波	各艦船	<p>奔運航指揮官出港時、港口近キ船ヨリ速ニ出港令ニ依リ</p> <p>一、第一航行隊形トシテ速ニテ注意セヨ</p> <p>二、先ノ航海ヲ各艦船距離遅トシテナリ極力隊形ノ保持ニ努力セヨ</p> <p>三、正午頃他船国入港ニ付他船国入港セバ本船国指呼信号ヲカトス</p>
一五	馬公	御藏	船国部隊	<p>本日一五二五、三八一機澎湖島上空ヲ偵察セリ今夜及ビ明日敵機襲来ノ算大ナリ今明日対空警戒ヲ嚴ニセヨ</p>

一六馬公阿波各船	一七馬公阿波各船	一七航海中平戸各船
奔序六船司令部	出港の場合、概ね左、通リトシ速カニ出港 セヨ一六、一六二、二七、一七、三八、一八、一五四 五、一〇、一三、一一	第三掃蕩隊及朝風ハ指呼信号ヨ左、 通リ定ム第三掃蕩隊NO佐渡N、 擇捉N、日振N、朝風 N、 二、三洋丸ヨ三船同ヨリ除ク
一明日、出港ヲ七時ニ延期ス	セヨ	
二出港準備序護衛隊大鷹船同トス		
三今夜ハ敵飛行機ニ対シ萬遺憾ナク期		

一七	航海中	本	阿波	原速一二節三(田)舷八(二)強速一四節(面)舷九(八)向危險回舷ヲ現左原速(八)三(三)毎時強速ヲ併用上續行ニ居リ
一七	航海中	阿波	各艦	視界狭少、場合令々ヲクシテ、變針ヲ一時見合ス場合アルヲ以テ前續船ノ運動ニ注意ニ續航スベシ
一八	航海中	平戸	本	雷轟ヲ受ケシハ確實ナリヤ
〃	〃	本	平戸	〃(〃)確實永洋丸右舷艦首ニ命中セルモ、如ク火煙ノ昇騰ヲ認ム
一八	航海中	阿波	本	永洋丸雷轟ヲ受ケシ時状況分ラバ知ヲサレ
一八	航海中	本	阿波	本艦一五〇度方向距離約五〇〇附近ヨリ浪洗状態ヲ進入セル様子ナルモ白波ナル

一八	航海中	平戸	各艦	昨夜二二三朝風敵潜電話感度高ク
"	"	平戸	"	通報各告セヨ然ラザレバ攻事ガ間ニ合ハズ
一八	航海中	阿波	各艦	三分国ヲ旭東日昌瑞鳳ニ改ム
一八	航海中	本	阿波	電探逆探ヲ敵ヲ捕捉セバ法令第四号所定特約信号ヲ活用シQ、O、S、D(敵潜水艦ヲ五〇度方向ニ探知ス)ノ如ク速ニ直後約八〇米ニアリ
一八	航海中	阿波	本	X-X當時、基準針路二三〇度ニ永洋丸ハ平戸ヨリ右一五〇度方向約二四〇〇米本艦ノ距離)知ラセタシ
一八	航海中	阿波	本	襲撃時、平戸ト永洋トノ関係位置方位爆音火煙、昇騰ヲ認ム

一八	
航海中	
平	
戸	
各	
艦	
<p>一今夜接岸航路(接岸約一五哩)取ル 二第三警戒航行隊形但シ左列先頭平 戸(警導支)右直イ倉橋御藏昭南朝 風藤波、順三列右直イ海二トス 距離 一五〇〇米 掃蕩隊前方右斜、前中央右斜後各 一隻約五〇〇米ニ占位船団極力常距 離ヲ保テ 三船団回避運動ハ右果急斉動ヲ之前</p>	<p>警告報セシテ平戸ニ達セズ 今夜敵電探又ハ電誘等ニ感セバ信号ヲテ 報告セヨ 本朝〇三五〇平戸ハ敵電探メカ サイクルヲ探知セリ</p>

一九	航海中	本	倉橋	各艦	トシ九〇度回避ヲ行フコトアルベシ 四集団爆雷攻撃ヲナシラケ
航海中	本	倉橋	各艦	今夜接航中針路信号ヲ用ヒスニ齊 尊ス	Xカヨメ阿波能登香椎並海丸ハサニルナ ニトニ碇泊セリ本國モ其地ニ合同明朝 岷港サレテハ如何
航海中	本	倉橋	各艦	唯今ヨリサニルナトトヘ直航主隊ニ合 同ス針路一三〇度トス	十九日三五四一八五E一二〇五ニ於テ雷轟 三本ヲ受ク被害ナシ使用爆雷八個
航海中	本	倉橋	各艦	敵潜水艦ノ砲雷轟ニ対シ警戒セヨ護イ艦	一七三〇敵電波一三三メカサイクル感五今夜

	二〇 三ヶ所下 泊地	平	各艦	八十二節三分トナセ 明朝〇八〇 岩港サ ニタクルス 灣ニ向ニ予定 岩港準序ニ左ノ通り定ム 護ヲ艦船因ノ順 序ニ港口近キ船ヨリ
	二〇 航海中	平	各艦	船因ハ一〇一五 俵泊ス 護ヲ艦ハ附近ノ移動 哨戒(佐渡艦長所定) 平戸ハサントトス ノ清況ヲ見ニ行ク
	二〇 航海中	阿波	各艦	第二警戒航行隊形左列ハ二 右列三四 分國トス 船因ノ第一警戒航行隊形ヲ三縦列トシ 第一分國(中)一三四番船 第二分國(左) 七五二八番船トシ 第三分國(右)二二一〇 四番船トス

二	航海中	平戸	各艦船	<p>藤波遭難者一〇〇名ヲあづさ丸六〇名 マ瑞鳳丸ニ移乗シタル後錨地ニ着ケ日振 ハ遭難者ヲ旭東丸ニ移乗セシメヨ</p>
二	航海中	阿波	各艦船	<p>入港順序平戸船四護ヲ艦ノ順トス 一明日〇六三〇出港マニラニ廻航ス出港順 序掃蕩隊第三二護ヲ艦主隊船四 トス 二掃蕩隊ハ〇六〇出港今夜哨戒ヲ 又廻シ港口ノ対掃蕩ヲセセ 三在泊護ヲ艦ハ今夜逆探及水中聴音 器ニ配員セヨ</p>
〃	〃	〃	〃	<p>船四、出港〇六四〇トス 出港順序ヲ一、一七、三一〇、五四、八ノ順トス</p>

<p>二 航海中 阿波 各船</p>	<p>二 航海中 平戸 各船</p>	<p>二 マニラ 本 所</p>	<p>二 マニラ 本 所 各船</p>
<p>マニラ、錨地ハ特令ナケレバ檢疫錨地トス 基準船ハ突提淨標、南方五〇〇米ニ投錨 ス各船ハ其附近便宜投錨セヨ</p>	<p>宛船回部隊明日〇九〇〇ヨリ三南遺廳 舎ニ於テ研究會ヲ行フ護イ船々長通信 執務者ヲ集スベシ</p>	<p>宛運輸部便來者准士官以上四名下士 官兵六〇名外ニ大弁二隻航空用潤滑 油五〇〇ドラム郵便物四一個機密圖書一 一個受取リニ来ヨレタシ</p>	<p>宛軍需部托送機密圖書本箱一〇有 リ至急受取リニ来ヨレタシ 弁三下司令部宛各船三二警ヨレドール</p>

ニ 三	ニ 三	
マ ニ ラ	マ ニ ラ	
所	所	
平 戸 御 藏	平 戸 御 藏 倉 橋 本 藤 波	
<p>第 六 船 國 家 謀 明 二 十 三 日 一 四 〇 〇 ヨ リ</p>	<p>第 六 護 イ 船 國 家 謀 明 日 〇 九 〇 ヨ リ 平 戸 ニ 於 テ 通 信 成 績 調 査 行 フ 各 艦 電 信 員 長 ハ 記 録 持 参 平 戸 ニ 参 集 ス ベ シ 平 戸 通 信 長 ハ 右 記 録 ヲ 一 四 〇 〇 研 究 会 ニ 開 ニ 合 テ 如 ク 調 成 セ ラ レ 度</p>	<p>見張所港務部信令第三三九號コレヒト ル見張所一二〇度約一〇〇〇米ニ於テ潜 望鏡ヲシキモノ見シタル船アリ 一今夜在泊艦艇船舶ハ対潜警戒ヲ嚴ニ セヨ 二三一警備隊司令ハ劣動可能舟艇成可 ク多数ヲ以テ泊地外方ノ警戒ヲ嚴スベシ</p>

			倉橋 本 藤波
二六	航海中	平戸	各船
<p>第一回七二船団研究会ヲ開催ス航海長 電信員電信長(通信関係員)参集ス リタシ</p> <p>一今夜第二警戒航行隊形ヲ行フ予定 二第三警戒航行隊形ニ於ケル直イ位置一 三番艦ハ(三)番船ノ左(右)三〇度一五〇 米外等一二同</p> <p>三カラミナミクイグ通航中特約信号畧語 ヨリ之字運動ヲ止ム</p> <p>×サヨメ今夜仮泊錨地ハ明日ノ行動ノ 関係上出来得ル限リ南進ノ要アルモ概 テ九度止二七度三〇分東トナル見込護 ノ艦ハ船団ノ外側ニ仮泊警戒ヲ予定</p>			

二七	航海中	平戸	各艦船	<p>一明二十八日。六四五号港ス</p> <p>二号港後第四警戒航行隊形ト三平戸嚮導ス</p> <p>三御藏倉橋。六四五号港後令ナクシテ</p>
二七	航海中	平戸	各艦船	<p>今夜、碇泊要領左ノ通り定ム</p> <p>一第四警戒航行隊形ノ儘投錨</p> <p>二護身艦十二節十五分間待機捨錨用意ヲナシ置ケ航海中三準シ哨兵ヲ配シ電測水測哨戒ヲ嚴ニセヨ</p>
二七	航海中	梓丸	各艦船通 報護身艦	<p>一今夜ハ現航行隊形々々錨地碇泊ノ予定水深等錨位ニ注意セヨ</p> <p>二明朝、号港順序旭邦梓旭東、北海阿波瑞鳳ノ順</p>

	二七	航海中	梓	<p>速ニ船員前方約一〇浬進出先航シ ミヤノミール南方一〇浬航路右側五浬附 近掃蕩實施上合同重要スレバ警戒 枚射ヲナセ</p>
二七	航海中	梓	各船	<p>今夜、錨地ニ関シハ平ノタナニ通リトス 第四艦警戒航行序列ヲ左ノ通リトス 一、三、五、六、明日、出港順序モ右ノ通リトス 一、今夜ノ之字運動ハA法五分間隔トス 二〇〇ヨリ開始ス</p>
二八	"	"	"	<p>三開始再興ハ特約信号XマX又ハXマX ヨルカ又ハ空令十五分三十分四十五分ニ無 信号ヲ終止スルトアリ先頭船ニ注意 一、夕ナ五ノ信号ヲ取消シ今夜第四警戒航行</p>

二九	"	二九	
航海中	"	航海中	
梓	"	平戸	
各艦	"	各艦	
旭邦丸分離後、隊形ヲ左ノ通リ指定ス	二右両艦解列後直ニ配備平戸一御蔵 三倉橋五海十一藤枝四トス	リットルテールセウアルネイパツチアムコツクワニ カムパツチ間ヲ通ル 一八〇〇ニ至ラバ旭邦丸二十八号駆潜艇ハ列 ヲ解キ駆潜艇護イノモトニ便宜ニリニ回航 セヨ	序列(護イ船一、二、三、五、七、六番艦順) 平戸嚮導ス 二之字運動ヲ行ハズ三、変針信号ヲ行ハズ 四各艦船ハ距離ヲ延バサザル様特ニ注意 セヨ

<p>阿波丸祖邦、跡瑞鳳、西列、中央後方 トス</p>	<p>二九 航海中 平戸 各 船 一、二〇〇。左、配備ニ着ケ平戸梓ノ前御 藏右前倉橋右中藤波右後海一梓 丸、左 三、〇〇。針路三三五度。二〇。針路三六〇度、 予定</p>	<p>三〇 航海中 平戸 各 船 ×サヨ×一八三〇。針路二八五度ニホーバシラツ 岬向通過アヒ岬寄りニ接航ノ予定 今夜此隊形ノマニ極力信号ヲ行ハズ 接岸航行ニ行ニ変針予定概チ左通リ 変針時隊ノ乱レザル様注意セヨ 二三三〇。岬灯台ノ五〇度四湊ヨリニ七〇</p>
---------------------------------	---	--

三〇	
航海中	
梓	
各艦	
今夜接岸航行中之字運動の法五分 間隔トシ信号ヲ行ハズ先頭ニ做ヒ實施セ	度同灯台北ニ六哩ヨリニ五〇度〇二〇〇ト岬 三三四度四哩ヨリニ三〇度〇四〇〇一度四四 分一〇九度五分ヨリニ〇六度

終

八月七日。四。旭東丸特務艦長	大臣總長 P GF 尸 吳鎮	旭東丸機密第。七。八四。番電 部崎着
八月六日。九。旭東丸特務艦長	大臣總長 P GF 門司在勤武官	旭東丸機密第。六。九。番電 門司向ケ吳弁
八月五日。高。第六護衛船 國参 謀	海護衛總司 P GF 各部 大海参 部長 其他	六護衛機密第。四。七五五番電 上ノ形因ハ船國準備關係六月八日門司發伊 萬里集合打合セ上九日早朝出雲ノ予定

電信ノ部

受 (通報)

通

信

記

事

<p>八月十六日。要 GF 参謀長</p>	<p>八月廿三日。 旭東丸 特務艦長</p>
<p>GF 旭東丸速吸 GF 其他</p>	<p>運輸本部長 其他 P/KE JKE 運輸部長</p>
<p>GF 機密隊 五三四番電 第一遊撃部隊出雲時、補給トミテ MMニハ少クトモ 重油三五〇噸保有ニ置ク要アリ近ク GF 油槽船中</p>	<p>旭東丸機密隊〇七三三〇番電 本艇八日〇五二五部崎祭ヒリ船団ニ加入北南ニ進麥 便乗者又搭載物行左、通 ニ行行 准士官以上四名下士官兵六〇名 大弁二隻航空用潤滑油五〇〇ドラム 郵便物四個機密圖書二〇個 ニ北南行 准士官以上五名下士官兵及之員一三三名空ドラ ム五〇〇。郵便物五個</p>

八月十八日九 第 六 護 衛 船 司令部	船 団 部 隊	左記四隻ヲGIF長官ヲ指揮ヲ受ケESヨリMMヘノ重油 集積ニ從事セシメヨルノ予定尚之ニ充當スベキ護衛船 三隻ヲ自下研究中ナルモ南方諸島方面緊急輸 送トモ関係三隻程度ニ過ギサルヲ想フ 摩下護衛船活用或ハ又適宜船団加入等ニ輝航 適正ヲ期セラレ度 興川丸ESヲ機関修理中八月二十日頃完成(速吸旭 東丸何レモヒク船団加入ESニ向ケ航行中)日邦 丸ESヲ損傷部修理中八月二十日完成)
八月十九日三〇	船 団 部 隊	6EB機密第一九〇八五七番電 位置知ラセ

<p>八月十九日九時 第六護衛船 司令部</p>	<p>八月十九日六時 第六護衛船團 司令部</p>	<p>八月十九日三時 藤波 司令部</p>	<p>第六護衛船 司令部</p>
<p>全船團</p>	<p>船団部隊 比島部隊 指揮官</p>	<p>平 船団部隊 渡艇</p>	<p>帝亞丸 掃蕩隊</p>
<p>6EB機密第一九〇九三七番電 救助海面附近敵潜水艇アリ注意ヲ要ス</p>	<p>6EB機密第一九〇五三〇番電 掃蕩隊藤波御藏及速吸旭東丸帝洋丸救助 担任官其他ハビガニ入泊セヨ</p>	<p>藤波機密第一九〇四〇番電 八度一〇分三三〇度一〇分附近遭難者極メテ多 数漂流ニリ 日出時迄救助艇二隻派遣サレ度</p>	<p>帝亞丸ハ便宜最寄ノ港ニ避泊セヨ 掃蕩隊ハ今日経テ明日ノ會合点ニ向ヘ</p>

<p>八月十九日〇六九 第六護衛船 国司令官</p>	<p>船国部隊 全 艇</p>	<p>GEB 機密第196345番電 船団ハ南東ニ向ヘ</p>
<p>八月十九日一〇〇〇 旭東丸 特務艇長</p>	<p>第六護衛船 国司令官</p>	<p>旭東丸機密第191000番電 〇〇〇ノ位置ルニ七度五五分E一一九度二四分 針路一八〇度速力十四ノ倉橋日昌丸ト合同セリ</p>
<p>八月十九日一三五〇 第六護衛船 国司令官</p>	<p>船国部隊 全 艇</p>	<p>GEB 機密第191238番電 最寄リ艦艇ハ極力合同サンニエルナド灣ニ集合 セヨ</p>
<p>八月十九日一三四五 旭東丸 特務艇長</p>	<p>第六護衛船 国司令官 (戸原上機)</p>	<p>旭東丸機密第191345番電 旭東丸日昌丸倉橋北南「サンニエルナド」ニ向フ 一九三〇着ノ予定</p>
<p>八月十九日一七三五 旭東丸速吸</p>	<p>GE 機密第191435番電</p>	

<p>八月十九日〇五五 GE 参謀長</p>	<p>八月十八日二三七 P NSB</p>	<p>P GF</p>
<p>旭東丸日榮丸 其、他</p>	<p>驅潜^{三三}号八三〇 旭東丸 其他</p>	<p>P GHF P IKGF</p>
<p>GF 機密第^六一三一四番電 最近油槽船^三テ内地出港直前及直後機関 故障ノ為、船団ヲ延期スル、止ムナキニ至レルモノ四件</p>	<p>GF 機密第^六一五三四番電 信電令作第^一號 第^三〇號驅潜艇第^三號驅潜艇ハ昭南ニ至リ旭 東興川丸(情况ニ依リ神威ヲ加^フ)ヲ護イ^リミ^リニ至 旭邦丸船団(護イ^ル艦第^二八号驅潜艇)ヲ合同 ニシテ^ニ掃^ク投^スベシ</p>	<p>GF 電令第^三六九 號 速吸旭東丸内地回航ヲ取止メES^ニテ重油荷載 上南西方面艦隊長官、指揮ヲ受ケMM^ノ重油 集積ニ從事スベシ</p>

<p>八月二十九日 西五 第三〇 駆潜 艇 長</p>	
<p>旭東丸 平丸 旭部丸 其他</p>	<p>(P GKF IKLF RF)</p>
<p>比30 機密 第二九二四。當電 第三〇 駆潜艇ト共三十九日〇〇〇マニ 岸バラワ 島西岸及ホルネ才西岸ニ接航サビ灯台北側 九月二日〇六〇通過 昭南軍港三日一二〇。着ノ予 定九月一日? 三十一通艦所系(三一〇ニ)ヲ去リ 昭南地方艦所通信系(七一〇)ニ入ル</p>	<p>アリ其原因ニ就テハ目下調査中ナリ 機関取 扱上 缺陷ニ依ルモノト推定サルモノ多ク 現戦局 燃料 運送及集積ニ全カヲ傾倒スベキ時機ニ ニテ之ガ成否ハ直接作戰ニ影響スルトヨリ至大ナリ 指揮官 船長及機関長ハ部下ノ教育訓練ニ 吏ニ段ノ工夫ト努カヲ拂ヒ此種ノ故障ヲ根 絶ス期セシレ度</p>

かてか

終

0425

(二)
機
関
部

一 機関修理改造新設箇スル事項

八月二十四日 號外電機四番主軸受植込ボルト折損

八月三十一日 號外電機四番主軸受植込ボルト折損

何レモ艦内修理不可能ニ付應急修理施行セリ 時機ヲ得次第

修理ヲ要ス

二 機関整備及使用する箇スル事項

機関、使用箇スル別表ノ通り

三 機関、故障故障箇スル事項

記 事 ナ シ

四 燃料、真水補給箇スル事項

記 事 ナ シ

五 其他、必要ト認ムル事項

記 事 ナ シ

0427
1270

潤滑油	行動用外部油	行動用内部油	行動用燃料	航行程	運轉時數	強速以上時數	原速	投錨	昇着地	投錨	任務	①機関動作
4.076	1346.9	205.0	2575.6	234-36	44-51	15.0	72	8-21	吳淞	8-6	回航	
25	2.0	0.5	1.0	00-14	/	/	12	8-22	吳淞	8-22	錨	
2.329	752.9	88.5	4462.8	129-36	2-18	15.0	12	8-31	指南	8-25	回航	
6.450	2.100	294.0	4404.4	364-26	50-76	/	/	/	/	/	合計	

0428

使用時間 (時分)	機動艇機 機動艇機 機動艇機	機侯待機		總航程 (運)	運轉時數 (時分)	期 間	主機械制式及數	①主機械機動艇機 機動艇機使用時數	最近年度渠年月日	平均吃水 (米)	行動用系層 (綿布等)
		航中	泊中								
54.50	海軍型三〇馬力内火艇	0	10-30	1000	2642	計	川崎M.A.型 ダイセル 複動、無空氣	數一	昭和十九年六月十八日 北南第一造船所第三船渠	6-01	53
										6-11	2
										6-11	30
											85

期	罐番号	項目	一號	二號	三號	合計	補助機使用時數 (時分)	期	補助罐制式及數	圓型重油専焼	數三(内廢年罐一)	⑧罐使用時數
化	三〇	三〇	0	0	0	0	0	計	ウエマース式			
蒸			0	0	0	0	0	日	一			
期												

0430

集電機	發電機					冷却機	溜器	蒸溜器	器
制式及数	四號	制式及数	三號	二號	一號	制式及数	一號	制式及数	一號
堅型三段	04455	直流複捲 20kw 碓泊用	411-25	387-20	377-30	直流複捲 295kw 三	540-35	マルチ クワイド式 一	0
							0	三〇 厩	川崎式 一
									0

1850

	額 冠	満載	眞水	① 造
	雑用	飲用	罐用	水 表 眞水 搭載
計	一〇一〇・〇	七〇〇・〇	一三五・〇	一七五・〇

補給用空油ポンプ					ボ 縮
四	三	二	一	制式及 数	二 一
號	號	號	號	ウオシグ トシ 横置式 四	號 號
4-30	1-15	4-30	1320		01-10 10-25

0432

月	① 燃料 潤滑油 消耗品 搭載	載真 額搭			日	造 額			月
		計	雜 用	飲 用		罐 用	計	雜 用	

潤滑油		燃料							搭載場所		
(之)		船用			自用		補給用				
二號内部礦油	一號内部礦油	三號外部礦油	二號外部礦油	一號外部礦油	二號石油(之)	一號普通揮発油(之)	罐用重油(之)	一號重油(之)	九二揮発油(之)	二號重油(之)	罐用重油(之)

0434

燃料		補給用 (船)			主要燃料庫量	期	①燃料潤滑油消耗品費額
二號石油(五)	一號重油(船)	罐用重油(船)	九三航空機油	二號重油	罐用重油	向	
						在 庫 量	
708	320	0	0	0	0	費 額	
414	337	0	0	0	0	費 額	

白 絞 油	三號 外部 礦油

糸 屑 (延)	糸 屑 (延)	内部 潤滑油 (延)			外部 潤滑油 (延)			合計	合計	合計	合計
		三號 内部 砥油	二號 内部 砥油	一號 内部 砥油	三號 外部 砥油	二號 外部 砥油	一號 外部 砥油				
345 (170)	345 (170)	646.0	364.0	488.0	216.0	9.20	0	65	2420	243	863
85 (45)	85 (45)	2172.0	36.0	2100.0	36.0	6.477	0	7	6452	18	153

0436

以下 一時間待機			磁石 (時分)	航空 (時分)			期 間	主機 機式及 数	③ 機 関 待 機
一時間待機(節)	三十分間待機(〃)	五十分間待機(〃)	即時待機(〃)	三十分間待機(〃)	五十分間待機(〃)	即時待機(節)			
0	0	4-00	0	0	0	0	27	川崎M.A.N型 「テイル」複動無定条 数一	
0	0	5-30	0	0	0	0	28		

終

0437

(三)
醫務衛生部

第二号征中ノ事項

二天候ノ概要並ニ氣象ノ衛生的影響

本期間中ニ於ケル正午氣象狀況次表ノ如シ

氣		温		濕		度		集		圧	
最大	最少	平均	最大	最少	平均	最大	最少	平均	最大	最少	平均
三三五	三三八	三六五	三八〇	二四〇	二六〇	七六五	七五三	七五八	九		

三月日所在及任務行動ノ概要

前月ニ引續キ吳ニ於テ艦体整備作業ニ任シ八月六日吳岫港同
十五日馬公入港同十七日馬公岫港同二十一日マニラ入港同二十六日

マニラ岫港昭南ニ向テ

四号征中ニ於ケル治療品被服糧食飲料水其他衛生關係
アル物品ニ関スル事項並ニ搭載補給ノ概要

(一)治療品(戰時増備補充特ニ必要アルモノ)左記ニテ点ヲ補給ス

6870

大	軍	旭東丸	特務艦
八月	現員	現患者	現員延敷
五五五五	二六三三	七〇三	一八八六
五八七〇	〇一三三〇		
		外傷	新
(十)	一	結核性	
(十)	二	性	
		病伝染病	
(十)	二〇	其他	患
五三三	三三二	計	

六才征中、衛生狀況
 (一) 受療患者、狀況
 該當事項ナシ

(二) 飲料水
 (ハ) 糧食(本期間中次表、如ク補給セリ)
 貯糧品 四三三〇 升 生糧品 四九三・六 升
 吳軍需部及第百三軍需部ヨリ補給セラレタリ

茅草	備品
一	消耗品
六	藥品
一五	品
二二	計

軍人	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	合計
外入	七	六	五	一	八	〇	一	三	六
比前 較	ナ	シ							
									五
									五

備考ノ艦營傭人ハ軍人中ニ算入セリ

又軍人外ハ便乗中ノ工員ナリ

(ハ)其他特ニ必要ト認ムル事項

一八月二日總員コレヲ予防接種施行セリ

一八月四日總員種痘施行セリ

一八月六日總員ニ對シ血液型判定ヲ施行セリ

七被服(防寒)防熱換氣入浴等衛生ニ関スル事項

被服ハ防暑服常時前月承前着用シタリ

被服洗濯ハ個人洗濯三面實施セラレタリ

防熱換氣ハ前報告ニ同シ

入浴ハ總員入浴四回實施セラレタリ

0442

(四)
會計經理部

生	貯	区	(四) 物品受拂	計	臨時軍事費	又	記
糧	糧	分					
品	品	受入数量		0	0	受入額	
四九三	四三〇	〇〇〇		五〇五	五〇五	支拂額	
六〇〇	〇〇〇			六九〇	六九〇		
七九八	一二三	拂出数量					
〇〇〇	三〇〇						
百三	百三	記					事
軍需部ヨリ受入	軍需部ヨリ受入						

三 経費支出納物品受拂事項
 (一) 本月分経費受拂

一 會計経理ニ関スル令達並ニ報告ノ大要
 ナシ
 二 臨戦準備関係事項
 ナシ

計		九三二	九〇	九二四九	三六三	三〇〇	三六三	呉軍需部ヨリ受入
---	--	-----	----	------	-----	-----	-----	----------

四、恤兵品寄贈品受拵處分

午三

五、特別輸送任務関係

八月四日 呉ニ於テ士官及下士官兵便乗者一五八名乗艦

八月七日 門司ニ於テ士官及下士官兵便乗者四五名乗艦

八月三日 マニラニテ便乗者中士官及下士官兵六四名退艦